

所 報

(2023.5.1 ~ 6.30)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』776号(2023年6月)

『大原社会問題研究所雑誌』777号(2023年7月)

『日本労働年鑑』第93集(2023年版)旬報社

□図書受入(5月)

	和書	洋書	計
購入	2	13	15
受贈	21	0	21
合計	23	13	36

□図書受入(6月)

	和書	洋書	計
購入	19	2	21
受贈	40	0	40
合計	59	2	61

□閲覧サービス(5月)

閲覧

開館日数	19日
閲覧者数	12名
貸出図書	23冊

コピーサービス

学外	9件	725枚
学内	1件	73枚

□閲覧サービス(6月)

閲覧

開館日数	22日
閲覧者数	16名
貸出図書	16冊

コピーサービス

学外	11件	1,542枚
学内	3件	1,147枚

日 誌

□5月

- 1日 事務職員の部分的テレワーク継続(～31日)
- 8日 「生活困窮者自立支援事業と生活保護制度の見直し論議の検証」共同研究プロジェクト(布川) 仲野浩司郎(羽曳野市役所/大阪公立大学非常勤講師)「地域共生社会と重層の支援体制構築事業」

来所:埼玉福祉会(地下書庫の資料の移動,対応:中村)

- 10日 所員会議

事務会議

- 17日 運営委員会

①「2023年度自己点検・評価シート」及び「2023年度中期目標・年度目標達成状況報告」について

②2023年度研究会,共同研究プロジェクトについて

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

戦後失業対策事業研究会(榎)

安岡健一(大阪大学大学院文学研究科准教授)

「現代史の課題とオーラルヒストリー」

- 18日 来所:近現代資料刊行会(『じかたび』刊行打ち合わせ,対応:内藤,野々村,中村,菊地)

- 22日 来所:埼玉福祉会(地下3階書庫カビ対策清掃除塵作業)(～31日)

藤田理雄氏(元環境アーカイブズRA)ヒアリング:原子力資料情報室視聴覚資料について(聞き取り:山本, Kimberly, 宇野)

- 23日 大原社会政策研究会(106回)(於:立教大学池袋キャンパス)

イ・ヘリン(立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科博士後期課程)「韓国における起業型就労支援の在り方——「自活企業」の社会的経済化を中心に」

- 24日 月例研究会

長原豊『「余白」と散種』

- 30日 出張:NPO法人アートフル・アクション(東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービスコーナー資料利活用に向けた打ち合わせ,出張者:山本,加藤,宇野)

- 31日 無産政党資料研究会(榎)

①叢書目次案について(各章の概要)

②復刻について

③今後のスケジュールについて

来所:東京光音(カセットテープデジタル化 テープ引き取り・打ち合わせ,対応:中村,川面)

□6月

- 1日 事務職員の部分的テレワーク解除:コロナ感染予防を目的とした一律体制の解除,平常時テレ

- ワーク（個別対応）へ移行)
- 3 日 社会政策学会第146回大会（於：立教大学池袋キャンパス，参加：布川，鈴木，藤原）（～4日）
- 6 日 HOSEI ミュージアム運営委員会（榎）
来所：日本通運（ILO 資料受け入れ打ち合わせ，対応：伊東，中村）
- 7 日 所員会議
事務会議
- 14 日 来所：HOSEI ミュージアム（展示に関する打ち合わせ，対応：榎，伊東，土井）
- 16 日 授業：「大学を知ろう〈法政学〉への招待——第10回ユニークな研究所」（於：市ヶ谷キャンパス，「大原社会問題研究所について」，講師：榎）
大原社会政策研究会（107回）
馬文博（大阪経済大学大学院経済学研究科博士後期課程）「外国人介護人材受け入れ制度の現状と課題——施設ヒアリングをもとに」
- 19 日 研究所来館サービスの制限を一部解除
※開館時間 月～金（9：30～16：30），閲覧人数制限なし。
- 21 日 運営委員会
①「法政大学大原社会問題研究所2022年度の歩み」の承認
②任期付き教員の更新上限に関する意見聴取への回答
③2024年度研究所叢書について
④兼任研究員の公募について
⑤その他
月例研究会
清水拓（兼任研究員）「戦後日本石炭産業における採炭技術の複線的発展と生産職場の多様化」
- 27 日 ILO コレクション搬入（寄贈者：ILO 駐日事務所，資料の量：段ボール480箱）
来所：日本通運（ILO 資料受け入れ・荷下ろし，対応：伊東，中村）
- 28 日 来所：日本通運（ILO 資料受け入れ・配架，対応：伊東，中村）
ILO 駐日事務所と国際労働問題シンポジウム打ち合わせ（布川，鈴木，藤原，山本）
HOSEI ミュージアム展示用フライヤー・ポスター原稿打ち合わせ（榎，伊東，土井）

大原社会問題研究所雑誌

No.779・780（2023年9・10月号）

2023年10月1日発行

定価2,037円（本体1,852円＋税10%）

年間購読12,000円（税込）

編集（兼）発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所長 布川日佐史

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話042（783）2305

印刷 株式会社相模プリント

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会労働問題に関する学術研究雑誌で、「論文」「資料紹介」「調査報告」の投稿を受け付けております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2019.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて無記名で本文に入ってください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、次の各 3 部を下記宛てに郵送してください。

A：投稿原稿（審査用原稿）

B：投稿原稿の要旨（1,000 字程度）

C：表題紙

C の表題紙に記載する事項は、投稿原稿の、①題名、②目次、③分量（図表を除く文字数（スペースを含める））、④図表の有無と数、⑤著者の氏名（よみがなを併記）、⑥肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑦略歴、⑧連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

7. 投稿者は、投稿原稿の郵送後、B：投稿原稿の要旨、C：表題紙を、下記宛てに電子メール（もしくは FAX）で送信してください。件名は【投稿(お名前)】としてください。

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会宛

【郵送先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所

【メールアドレス】ohara-journal@hosei.ac.jp 【FAX】042-783-2311

投稿原稿 執筆要領

1. A 4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2017）「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705 号、29-43 頁

原伸子（2015）「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店

Suzuki, Akira（2016）“Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.